

展望

OFFICIAL MATCH DAY PROGRAM No.2

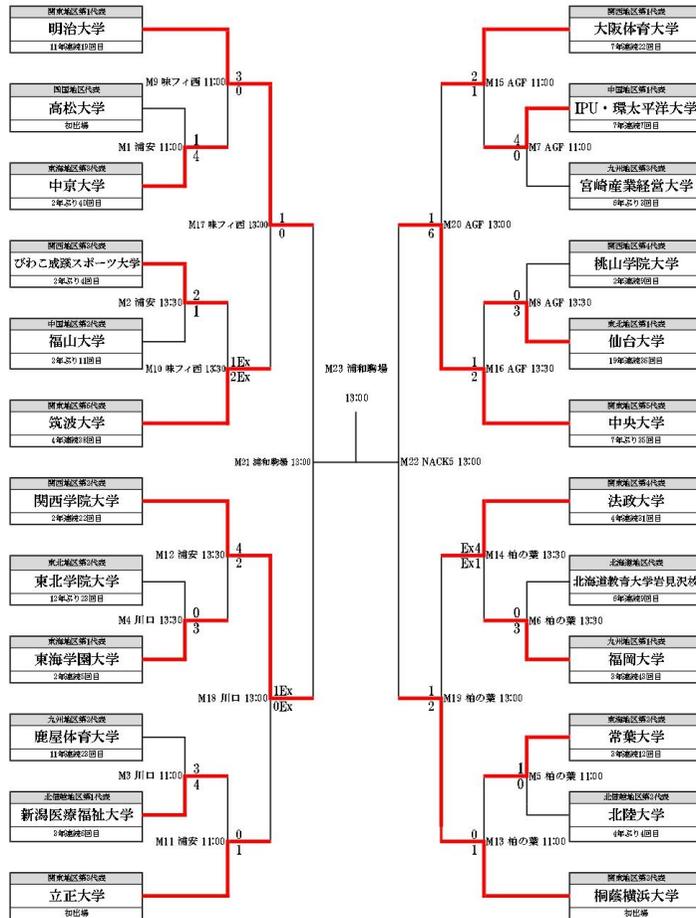
発行：一般財団法人全日本大学サッカー連盟
協力：内藤悠史



2019年度 第68回全日本大学サッカー選手権大会



1回戦	2回戦	準々決勝	準決勝	決勝	準決勝	準々決勝	2回戦	1回戦
12月11日 (日)	12月14日 (水)	12月18日 (日)	12月19日 (日)	12月22日 (日)	12月19日 (日)	12月16日 (日)	12月14日 (水)	12月11日 (日)



【決勝 12/22】Jクラブ内定者サイン会開催！

関東大学サッカーリーグ戦からJクラブへの来季加入が内定した選手のサイン会を開催します！
決勝当日に配布する整理券をお持ちの方、先着 100 名様限定となりますので、あらかじめご了承ください。
○日時：12月22日(日) 表彰式終了後～
○会場：レッズハートフルフィールド駒場

明治大学 vs 関西学院大学

12月19日(木) 13:00

文・内藤悠史

浦和駒場

関東大学リーグ、「アミノバイタル®」カップ、そして総理大臣杯と、今季のタイトルを総ナメにしてきた明治大学。4冠獲得に向けて、いよいよ残り2勝と迫った。今大会はシードにより2回戦から登場し、初戦は中京大学に3-0と快勝。そして中1日で迎えた準々決勝では、関東のライバル・筑波大学に1-0と勝利。筑波大がFW三笥薫(4年/川崎内定)、明大がFW小柏剛(3年)を後半途中に投入するなど、他校がうらやむ水準での選手交代が敢行され、極めてレベルの高い攻防が繰り広げられた。そして84分、明大MF中村健人(4年/鹿児島内定)のクロスにDF中村帆高(4年/FC東京内定)が頭で合わせ、決勝弾。筑波大の猛攻を耐え、関東王者が4強へと駒を進めたのだ。

対するは、立正大学との延長戦を1-0で制した関西学院大学だ。14日の初戦では、東海学園大学に4-2と勝利。打ち合いを制し、ベスト8に名乗りを上げた。そして中1日で迎えた準々決勝、関東3位と躍動した立正大を相手に拮抗した戦いを演じる。90分を終えても決着つかず、迎えた延長後半。MF山下諒(2年)が値千金の決勝弾を挙げ、難敵を破って関西勢唯一の4強入りを果たした。公式記録上、シュート数では相手に劣り、苦しい戦いを強いられながらも勝利を掴む。ノックアウトマッチを勝ち進むうえで不可欠な粘り強さを示しながら、関西の雄がベスト4へと駒を進めた。

さあ、いよいよ準決勝だ。4冠を狙う明大は、栗田大輔監督が「自分たちのサッカーを貫く」と言えば、DF中村帆も「いつかは点を取れる。時間の問題という感覚」というほど、紫紺の王者の自信は揺るがない。対する関西学院大も、高橋宏次郎コーチが「準決勝に向けてもやることは変えず、いつも通りの姿勢で臨む」と語っている。高橋コーチは「間違いなく一番強い大学」と明大へのリスペクトを強調しつつ、「自分たちがこれまでひとつひとつ積み上げてきたことを存分に発揮し、真っ向勝負で挑みたい」と続けた。東西の雄が激突する一戦、決勝への切符をつかむのは、果たして――。

桐蔭横浜大学 vs 中央大学

12月19日(木) 13:00

文・内藤悠史

NACK5

関東大学リーグ1部復帰1年目の名門が、全国ベスト4までたどり着いた。中央大学は2回戦で仙台大学に2-1と競り勝ち、準々決勝へ。そして迎えた大阪体育大学戦では、立て続けに2点を先取して前半を終えると、後半に4得点と大爆発。関西リーグ二連覇の王者を相手に堂々たる勝利を収めた。佐藤健監督は「交代で入った選手がうまく機能した。みんなで積み上げたものが形になっている」と手応えを語っている。一発勝負のノックアウトマッチ、勝利を掴むたびに芽生える自信と勢いこそが大会制覇の条件。MF中村亮太郎(4年/甲府内定)が累積警告のため欠場となるのは痛いところだが、MF大久保智明(3年/21年浦和内定)、DF三ツ田啓希(4年/松本内定)と各ポジションにタレントを揃え、満を持して準決勝へと挑む。

対するは、インカレ初出場にしてベスト4進出を果たした桐蔭横浜大学だ。今季の関東大学リーグでは、攻守ともに安定した戦いを披露。残留が第一目標だったチームが上位に食い込み、歴代最多勝点記録を更新した明大に次ぐ2位でフィニッシュした。MFイサカゼイン(4年/川崎内定)、DF眞鍋旭輝(4年/山口内定)らを中心に、ハードワークを標榜する安武亨監督の下でたくましさを増し、初めて参戦したインカレでも着実に勝利を重ねている。2回戦では常葉大学に1-0と辛勝するも、準々決勝では関東勢同士の対戦で前年度王者の法政大学を2-1と破った。安武監督は「セットプレーで先制できたことが大きかった」と振り返り、準々決勝で大勝した中大に対して「攻守において、戦う部分で後れを取らないように。そして自分たちの良さを出せるように頑張りたい」と抱負を語っている。

ファイナルへの切符を懸けたノックアウトマッチは、関東勢同士の激突だ。今季のリーグ戦では1勝1敗と五分の戦績だけに、決着をつけたい気持ちも強いだろう。中大が名門復活を印象付けて決勝へと進むのか、初出場の桐蔭横浜大が頂上決戦へと名乗りを上げるのか――。激闘必至の準決勝、全選手の一挙手一投足に注目だ。

◆Twitter: @JUFA_soccer

全会場・全試合リアルタイム速報



◇Instagram: @jufa_japan

大会期間中の感動の名シーンの振り返り



◆公式HP: www.jufa.jp

随時、大会情報をお知らせ

